

## Hitz-B69 型 ヒアリングコメント管理票

#	コメント日	項目	資料	コメント内容	状態	回答日	回答・方針
1	2022/08/23	概要	GK04-SC-V01 Rev.0, P17	緩衝体は「輸送用緩衝体」に見直すこと。	済	2022/09/15	「輸送用緩衝体」に訂正する。 第 18 回審査会合資料に反映。
2	2022/08/23	概要	申請書, P10	貯蔵用緩衝体は、発電用原子炉施設の設置（変更）許可申請時に別途確認しなければならない事項として、金属キャスク構造規格に規定される供用状態 D に対して必要な緩衝性能を有することを条件としているとあるが、具体的にはどのような緩衝性能のものを想定しているか。		2022/10/11	貯蔵用緩衝体は、地震時における衝突を想定した設計事象に対して、特定兼用キャスクの安全機能を担保する部材が金属キャスク構造規格に規定される供用状態 D における許容基準を満足するために、必要な緩衝性能を有するものとする。 なお、特別の試験条件は、貯蔵時の設計事象として一般的には想定されない。
3	2022/08/23	概要	GK04-SC-V01 Rev.0, P8~P11	収納条件の各配置の考え方を示すこと。（補足説明資料でよい。）	追加コメント 回答要	2022/10/11	補足説明資料 16-1 の別紙 4 で配置の考え方について説明する。追加のコメント 3-1 及び 3-2 については別途回答する。
3-1	2022/10/11	概要 (除熱)	GK04-SC-Z01 Rev.0, 別紙 4	別紙 4 の使用済燃料収納配置の考え方について、除熱評価では各条件での評価がわかるようにすること。また、横置き配置となるため、縦置きとの違いによる評価について説明すること。		2022/11/16	補足説明資料 16-4 除熱機能に関する説明資料で説明する。 各条件での評価について、4 つの配置条件それぞれで除熱解析を実施し、使用済燃料の評価については、各結果を記載している。構成部材については、解析の結果、構成部材温度が最も高くなる配置(4)の結果を示している。なお、配置(4)が最も温度が高くなることは、各解析結果の温度コンター図で確認できる。 横置き配置の評価としては、別紙 1-2 表に示すように、水平円筒部表面における自然対流熱伝達率の周方向分布を考慮した熱伝達率の知恵現係数 0.87 を考慮し

#	コメント日	項目	資料	コメント内容	状態	回答日	回答・方針
							<p>ている。</p> <p>また、燃料部の評価においては、実際はコンパートメント下面で使用済燃料とバスケットの接触による熱伝導が行われるが、その影響を排除し、燃料集合体の温度を高め設定するために、空間の中央に配置する条件としている。</p> <p>これらの説明は、P別紙 1-9 の 3.除熱解析の保守性に示している。</p>
3-2	2022/10/11	概要 (除熱)	GK04-SC-Z01 Rev.0, 別紙	除熱に関する説明と理解しているが、除熱に関する記載ではなく、遮蔽上の説明に読める箇所があり、別紙 4 の 図 別 4-1～図 別 4-4 と説明内容があっていない箇所があるので、整合性をとるよう、別紙 4 の見直しを行うこと。			
4	2022/08/23	概要	GK04-SC-V01 Rev.0, P36	除熱及び閉じ込めの周囲温度条件において、”Hitz-B69 型を含めた”という表現について、適切に見直すこと。	済	2022/09/15	“Hitz-B69 型を含めた特定兼用キャスクの周囲温度”を”Hitz-B69 型の周囲温度”に訂正する。第 18 回審査会合資料に反映。
5	2022/08/23	概要	GK04-SC-V01 Rev.0, P22	各解析結果がどの配置の収納条件かわかるように注記を入れること。	済	2022/09/15	4.安全設計に関する評価概要に注記で各解析の条件を示す。第 18 回審査会合資料に反映。
6	2022/08/23	概要	GK04-SC-V01 Rev.0, P16	Hitz-B52 型と類似の構造であることを注記すること。 P24 の審査での他のキャスクとの比較にならない、Hitz-B52 型の情報を参考に追加すること。 Hitz-B52 型と異なる点の説明をすること。	済	2022/09/15	第 18 回審査会合資料に参考として追加した。
7	2022/08/23	概要	GK04-SC-V01 Rev.0, P27, P28	設置許可基準規則への適合に対し、津波や外部からの衝撃については設計条件がわかるよう条件のスケッチを追加すること。	済	2022/09/15	津波及び外部からの衝撃（竜巻）について、各適合状況の後に条件のスケッチを追加する。第 18 回審査会合資料に反映。
8	2022/08/23	概要	GK04-SC-V01	兼用キャスクの設置方法に応じた評価の例では縦置きのス	済	2022/09/15	スケッチを追加する。

#	コメント日	項目	資料	コメント内容	状態	回答日	回答・方針
			Rev.0, P6	ケッチであり、今回の評価条件がわかりにくいのでスケッチを追加すること。 また、貯蔵架台が固定されないが、厳しい条件として貯蔵架台が固定された状態で、トラニオンで支持した状態での評価をしているとの説明について、記載をすること。			トラニオンで支持した状態での解析であることを追記する。 第 18 回審査会合資料に反映。
9	2022/08/23	概要	GK04-SC-V01 Rev.0, P7	バスケット材料について、表やスケッチでもう少しどの部材がどの材質かをわかるようにしてほしい。	済	2022/09/15	2.特定機器の仕様・構造のバスケット図に材質を追記する。第 18 回審査会合資料に反映。
10	2022/08/23	概要	GK04-SC-V01 Rev.0, P16	バスケットに使用した SG295 については、どこで使用されているのか、わかるようにしてほしい。	済	2022/09/15	上記と合わせて、コンパートメントの材質 SG295 を追記する。第 18 回審査会合資料に反映。
11	2022/08/23	概要	GK04-SC-V01 Rev.0, P16	概要の説明の場でなくてよいので、バスケットの詳細の説明をすること。 (クランプの固定方法、コンパートメントの製造方法など)	済	2022/10/11	補足説明資料 16-1 の別紙 2 でバスケットの概要を説明する。
12	2022/08/26	概要	GK04-SC-V01 Rev.0, P5	キャスクの構造図は一部非公開部分があるが、この図は、非公開部分が必要な詳細な構造は必要としていなく、それぞれの構造部材がだいたいどの部分になるのかが把握できればよいので、公開できるキャスクの図に差し替えること。	済	2022/09/15	公開できる図に差し替える。 第 18 回審査会合資料に反映。
13	2022/10/11	概要	GK04-SC-Z01 Rev.0, P12	本体のシール部には、シール面の防食を目的としてステンレス鋼の肉盛り溶接を行っているが、先行他社ではこのような記載は見当たらないので、この肉盛り溶接について説明を追加すること。			
14	2022/10/11	概要 (材料)	GK04-SC-Z01 Rev.0, 別紙 3	別紙 3 の S G295 の説明で引用されている新規材料採用ガイドラインは、新規材料を JSME 規格に登録するための手続きであり、今回は、この JSME への登録手続きを取らず、メーカーから規制側に、特認のような形で材料の使用を認めてもらいたいという方針であると理解した。 そのため、規制庁で審査するには、新規材料採用ガイドライ			

#	コメント日	項目	資料	コメント内容	状態	回答日	回答・方針
				ンによる JSME への手続きと同程度の資料を規制庁に提出する必要があると考える。 したがって、資料についてはガイドラインを適切に引用しながら丁寧に説明をすること。また、JSME への手続きと同程度の資料を準備すること。			
15	2022/10/11	概要 (材料)	GK04-SC-Z01 Rev.0, P24	一次蓋の材質がステンレス鋼であるが、一方で、本体胴が炭素鋼であり、材質が異なるため、熱膨張の影響の有無について説明すること。			
16	2022/10/11	概要	GK04-SC-Z01 Rev.0, P6	閉じ込め機能を監視するための設計方針について、「Hitz-B69 型の万一の閉じ込め機能の異常に対する修復性の考慮がなされていることについては、設置（変更）許可申請時に別途確認されるものとする。」についてもう少し説明を追加すること。キャスクとしては修復性があるが、施設として対応できるかどうかを、設置（変更）許可申請時に確認するという意味であれば、キャスクと施設で区別できるように説明を追加すること。  (例えば、P38 の蓋間圧力の監視では、キャスクへの適合性と施設での確認事項に分かれており、わかりやすいので、参考にする事。)			